

神戸空港滑走路舗装改修工事の工期延長（再工事）について

この度、神戸空港で実施している滑走路舗装改修工事において、発注者である関西エアポート神戸株式会社（以下 KAP 神戸）の仕様を一部満たしていないことが判明しました。本件に関して、航空機の安全運航に支障はございませんが、工期を延長して再工事を行うこととなりましたことをお知らせします。

空港をご利用の皆様、関係者の皆様にご迷惑をお掛けしますことを深くお詫び申し上げます。引き続き、安全安心を第一に当該工事を進めてまいります。

記

1. 神戸空港滑走路舗装改修工事の概要

工事内容：滑走路全域において、勾配修正を含めた表層舗装の改修工事

工期（当初）：2020年3月～2021年5月

工期（変更後）：調整中

施工者：東亜道路工業株式会社

2. 再工事に至った経緯

工事エリアの一部において、アスファルト混合物が KAP 神戸指定の仕様を満たしていない（密度が指定値より小さい）ことが判明しました。原因は、アスファルト混合物の納品元である3か所の製造プラントのうち1か所から2020年9～12月に出荷されたアスファルト混合物を構成する材料の一部に、KAP 神戸が承諾した物とは異なる材料が使用されていたためと確認されました。

これにより、滑走路については当面の使用には問題ないものの、長期的な耐久性が劣る（滑走路の劣化が早まる等）ことが想定されるため、今回の工事対象全エリアを対象として再工事を行うこととしました。

3. 滑走路の安全性について

本工事において、KAP 神戸指定の仕様を満たしていない材料が一部使用されておりましたが、滑走路には一定の強度があり、航空機の運航における安全性は確保されています。

※本件において滑走路の舗装に関する数値基準上の違反はございません。

なお、社外の専門家からは以下の見解をいただいております。

- ・滑走路の変状が短期的に生じることは考えづらく、当面の運用は問題ないと考えます。
- ・長期的な耐久性の観点からは、できるだけ早期に再工事するべきである。
- ・急激な変状の進行という事態は考えにくいですが、当面は通常の場合点検の際に路面状態を確認すること。

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部
パブリックリレーション
Tel.072-455-2201

東亜道路工業株式会社
広報室
TEL.03-3405-1811